

代表質問

新年度予算編成に当たっての市長の思い



自民・未来クラブ
光田 茂 議員

新年度予算編成に当たっての市長の思い

問 令和3年度の予算編成については、市長就任直後の令和2年度の当初予算と違い、関市長の大牟田のまちづくりの思いが本格的に反映される初めての予算編成だと思うが市長の思いはどうか。

答 令和3年度予算は、災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化を最優先課題としながら、併せて、「若者が夢をもって働くまちづくり」、「子育て世代に魅力的なまちづくり」、「安心して元気に暮らせるまちづくり」の三つのまちづくりの実現に向け、全力で取り組みたい。

三川ポンプ場と新開町地区の復旧・復興事業

問 今年の雨季までの取組と、今後の計画について聞きたい。

答 三川ポンプ場については、新たに口径500ミリの仮設ポンプ2台を設置して、毎分50立方メートルの排水能力を確保するための工事に着手し、

浸水による機能停止とならないよう電気設備のかさ上げなどの対策を進める。

また、排水強化として、国道389号線姫島町交差点

から東側市道160メートル区間において、既存の水路等の拡張工事を実施しており、5月中に完成を予定している。

新たなポンプ場建設については樋口公園に設置し、令和3年度に基本設計を踏まえ、一日も早い着工、完成ができるよう、国や関係機関と協議を進めている。

新開町地区については、令和3年の雨季までに雨水を大牟田川へ排水するためのポンプを設置していく。また、完成時期は県の災害復旧工事箇所と重複するため、県と調整・連携が必要で、令和3年度末を予定している。

新年度予算における市長の重点施策

問 新年度予算に反映されている市長の重点施策について聞きたい。

答 「若者が夢をもって働くまちづくり」としては、イノベーションの創出や企業のIT化の推進を。企業誘致の推進としては、(仮称)新大牟田駅南側産業団地の整備を。さらに、動物園開園80周年やともだちや絵本美術館と連携し

た記念式典等を開催していく。

過疎地域指定解除に伴う本市財政への影響

問 過疎地域の指定から外れることは、自立という一面だけではなく、財政構造や事業展開に大きな問題があると思うが財政への影響は。

答 交付税措置7割という有利な過疎債が活用できなくなることについては、厳しさが伴う。そのため、今後予定される建設事業については、事業費やスケジュール等を十分精査する必要がある。

(仮称)大牟田市総合体育館及び延命公園整備

問 総合体育館、延命公園周辺の整備についての市長の思いを聞きたい。

答 スポーツの振興や市民の健康づくりを図るため、トップレベルの公式戦の開催はもとより、子供から高齢者、そして障害のある方々にも安全で利用しやすい施設を目指す。

また、防災拠点・機能の充実としての十分な避難スペースを確保するとともに、延命公園及び周辺地域を市民の憩いの場として整備したい。



(現在の市民体育館 S49築)